

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	保育に関わる人のための安全対策講座
事業主体 (連絡先)	学校法人高松学園 飯田女子短期大学
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	648,805 円 (うち支援金: 463,000 円)

事業内容

保育者や保育に関わる方(保育サポーター、保護者)を対象として「保育に関わる人のための安全対策講座」を開催した。

1. 危険予知編

実施月: 令和2年8月、9月

会場: 松川町、飯田市、泰阜村 参加人数: 50名

2. 応急手当編

実施月: 令和2年9月、10月、11月、令和3年1月、2月

会場: 飯田市 参加人数37名

3. 組織マネジメント編

実施月: 令和2年7月、11月

会場: 飯田市 参加人数45名



【応急手当編にて】

【目標・ねらい】

- ①地域の保育者、保育に関わる方に、危険予知を中心にした安全対策講座を提供する。
- ②訓練レベルの高い応急手当プロバイダーを地域の保育現場に輩出する。
- ③組織マネジメント編を実施することで、園長、主任などの施設の管理者に向けた安全対策講座を提供する。

事業効果

①地域の保育者や保育に関わる方(保育サポーター、保護者)に、長野県内で盛んになりつつある自然保育(屋外保育)を想定し、危険予知を中心にした安全対策講座を提供できた。

②少人数で、質の高い訓練内容として評価されている国際的な救急法訓練プログラムを受講者の負担を抑える形で提供でき、保育現場に訓練レベルの高い応急手当プロバイダーを輩出することができた。

③地域の保育園や幼稚園などの園長、主任などの管理者とのネットワークを構築することができた。また、管理者に対しての安全対策講座を実施することができた。

※自己評価【B】

【理由】

コロナ禍での実施となったが、日程調整も含め、可能な限りの感染対策を行い、当初の目標を達成する形で実施できた。初めて開催した組織マネジメント編も好評であった。今年度の大きな成果であると考えている。

今後の取り組み

次年度は、開催から3年目になる。2年間で、多くの保育者や保育に関わる方の本講座への参加があった。受講者が受講した内容を園や地域に持ち帰り、同僚や仲間を紹介したことで、新たなに参加者が生まれるといったケースもみられた。また、次年度は応急手当編の更新を迎える方もいる。来年度も引き続き本講座を継続していき、多くの方の学びをサポートしていきたい。また、4年目以降は、現在、取り組んでいる保育の安全管理に関する教材開発研究をベースに、飯田女子短期大学独自の保育の安全対策テキストの発行も目指していきたい。